

平成30年度 入間東部むさしの作業所事業報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

はじめに

事業運営に関して、今年度報酬改定がされむさしの作業所にとって大幅な減収が見込まれました。そのため、急遽休日を11回開所し減収幅を減らす努力をしました。

建物の耐震化工事については、8月に工事が完了しました。作業所を開所しながらの工事だったため工期が長期化しました。

就労継続支援では、引き続き花を中心とした営業活動を行いました。新たに所沢航空公園の花壇用花苗の取引が開始されました。また、三芳町ふるさと納税返礼品として51件の注文が入りました。

就労移行支援では3名の就職者を出すことができました。就労継続支援B型からも1名就職に結びつきました。就職した人達が安定的に職業生活を維持できるよう、定着支援やフォローアップの充実を図り支援を行いました。

1 支援の充実について

(1) 就労継続支援B型事業

今年度も引き続き、目標売上額を設定して生産活動の充実および利用者個々に合った支援の充実を図りました。

ア 園芸部

今年度事業方針に沿って事業を推進しました。生産について、ロスを減らすため、過去のデータから必要な数量を生産して支出を抑えるなどコスト管理を徹底しました。また、昨今の気象状況に合わせて、培養土の仕入先を新たに開拓しより品質の高い商品が作れる体制にしました。技術指導については、引き続き松岡園芸と技術指導契約を結び専門的な指導を受けました。年間生産量も20万鉢を越える花苗を生産することができ川越、鴻巣、板橋の花市場への安定的な出荷へつながりました。

販売については、二市一町を中心とした学校・保育所・幼稚園等への納品の他、和光市、朝霞市、新座市、志木市、所沢市とエリアも広げています。また、富士見市副市長よりご紹介いただき埼玉県県土整備事務所ロードサポート事業用花苗の営業を行いました。

イ 製造部

受託作業、施設外就労(株富澤)を中心に支援を行いました。受託作業では、閑散期に新たな受託作業を取り入れ年間を通して安定的に仕事を提供できるよう取り組みました。また、引き続き(株富澤)での作業は、実際の工場で行う中で作業所の仕事では体験できない緊張感や達成感を感じることができました。さらに、同

工場内で新たな仕事の開拓について工場長と協議を重ねています。

ウ フラワーショップ『ふれんず』、仲卸店『Musashino Flower Market』の運営

今年度も引き続き、三芳町にフラワーショップ「ふれんず」を運営してきました。また、川越花卉市場内での仲卸店は、売り上げの減少や一般のお客さんへ販売ができないなど今後の事業展開の広がりが無い状況であるため事業を中止しました。

(2) 就労移行支援事業

就労移行支援では、引き続き、特別養護老人ホーム内の清掃（(福) 埼玉療育友の会はるな苑）、タオル工場での選別作業（山一商事株式会社）、本の裁断作業（(株)富澤）の受託や富士見市びん沼荘での実習を行ない、企業の現場で働くことでより実践的な支援を行ないました。また、今年度の実績として3名が一般就労へ結びつきました。就労した利用者へのフォローアップとして企業への定期訪問、「就職者の集い」を4回開催し、就職した人と作業所利用者との交流や定着支援を行いました。

ア 関係機関との連携

利用者が安定的、継続的に職業生活を営むには関係機関との連携が必要不可欠なため、定期的にハローワークとのチーム支援や地域の就労支援機関との連携を引き続き強化してきました。今年度もむさしの作業所が主催し『入間東部地域障がい者就労支援連絡会』を3回開催しました。

イ 家族との連携

利用者が職業生活を継続するためには家族の協力が必要不可欠です。そのため、家族との定期的な面談や3ヵ月ごとの支援計画の作成・見直しを行い信頼関係の構築に努めました。

ウ 職員の資質の向上

就労移行支援事業はより専門性の高い支援を求められることから、厚生労働大臣が定める職場適応援助者（ジョブコーチ）の資格を持つ職員3名配置しています。また、必要に応じて外部研修会への参加や地域の連絡会等に出席し情報収集、知識・支援技術の向上を図りました。

エ 就労実績

- ・ゲオビジネスサポート（レンタルCD店内清掃作業）（板橋区）
- ・(株)トラストシップ（生協商品のピッキング作業）（所沢市）
- ・社会福祉法人新座会 たての杜（施設内清掃）（志木市）
- ・社会福祉法人鶴守会 清光苑（施設内清掃作業）（鶴ヶ島市）

(3) 生活支援

利用者の様々なニーズや課題を共有し連携を深めるためケースワーカー・支援機関、医療機関等との連携に努めてきました。現在、作業所の利用者で一人暮らしの方が13名おり、生活支援について課題が大きくなっています。また、今年度、親御

さんが急逝されショートステイで生活をつないでいる方がいます。地域に住まいの場がなく今後の対応に苦慮しています。保護者の高齢化が年々すすみ、親亡き後の生活の場を含めた総合的な支援体制の確立が早急に求められています。

ア 自治会活動

今年度も、行事中心な取り組みや日頃利用者が感じている意見交換の場として取り組みました。また、ゴミの減量化に向けた廃品回収を実施し自治会活動費の確保、自治会役員選挙、バーベキュー大会も継続して行いました。今年度は、自治会での話し合いで伊豆潮風館に一泊旅行に出かけました。

イ 文化・余暇活動

利用者の文化活動・余暇活動をより豊かに潤いある生活を支援するために、クラブ活動（音楽、料理、健康、映画）、一日余暇活動、新年会、バーベキューの開催等に取り組んできました。

ウ 食事マナーの実施

毎月給食目標を設定し偏食に対する指導・啓発の実施、食事場面での利用者に対する食事マナーの支援・改善に努めてきました。

エ 健康増進

歯科医師・歯科衛生士による歯科検診ブラッシング講習会、年1回の定期健康診断を実施しました。その結果を保護者へ連絡し、適切な処置・支援に努めました。

オ 関係者との連携

今年度も例年に引き続き、ケースワーカーと年2回の定期協議の場を設け、利用者の現状における情報交換を行いました。特に支援に困難があるケースについてはケースワーカー、他のサービスを利用したり、それぞれの事業の専門性を活用し相互で情報交換・調整・連携を図りながら支援の充実を図りました。

(4) 通所支援

ア 自転車・徒歩・公共交通機関を利用して自力で通所している利用者に対しては交通安全、公共交通機関でのマナー等を支援しました。

イ 送迎バス・ワゴン車を利用して通所している利用者に対しては、指定された集合場所への集合・帰宅に際し、交通安全に対して支援をしました。

ウ 交通事故に対する注意喚起を行い、東入間警察に依頼し交通安全教育の講話をしていただき、利用者への交通事故への意識を持たせました。

2 円滑な運営管理と業務の推進について

(1) 二市一町の共同設置・共同運営の基本に立ち、具体的な取り組みを推進するために、障がい福祉担当課と連携し施設運営を進めてきました。

(2) 施設・備品等の整備については、必要性を十分考慮して対応しました。

- (3) 利用者に対し統一的な支援をするために、職員の研修への参加、自主研修などを積極的に行ってきました。また、定例の職員会議や臨時に職員会議を開催し、施設運営や支援技術など話し合い利用者の支援にあたりました。
- (4) 定期健康診断や歯科医師等による利用者の健康診断を実施し、利用者の健康状態を把握し、治療などに対応するため保護者との連携にも努めてきました。
- (5) 防災訓練の実施や作業所の危険防止・安全対策、所外活動を通じての交通安全対策等に努めてきました。また、防災訓練では、炊出し訓練を実施しました。
- (6) 東日本大震災を受けて、保護者会からの要望で作業所に宿泊できるよう備品の整備、備蓄食料を購入更新しました。
- (7) 埼玉県虐待禁止条例に基づき、全職員が休日出勤し虐待防止研修会（内部研修）を実施しました。

3 保護者会との連携について

- (1) 保護者会等で作業所の事業計画や方針などを説明し、作業所の諸行事の実施にあたり、保護者会と相互に協力し合い連携を図ってきました。

4 地域との連携について

- (1) 埼玉県社会福祉協議会からの「介護等体験実習」事業の依頼及び福祉系大学からの依頼を受けて、実習生の受け入れを実施してきました。
- (2) ボランティアについては積極的な受け入れを行いました。日頃関わっていただいているボランティアに対し感謝の意を込めてボランティア感謝祭を開催しました。
- (3) 入間東部むさしの作業所の存在をアピール、障害者への理解の輪を広げる場として、各地域で行う行事に積極的に参加するとともに、入間東部むさしの作業所として年4回自主イベントを開催し、保護者とも協力し合いながら、当作業所の製品の販売を通じ、障害者への理解を深めることができました。また、地域での作業所の知名度もあがり徐々に地域に作業所の存在が地域に広がりつつあります。
- (4) 富士見特別支援学校の、就業体験学習を実施しました。特別支援学校の生徒が定期的に作業所に来て仕事をするすることで、働くことの意義について理解を深め、必要な実地的な知識を得る機会となりました。

5. 日中一時支援事業

今年度の利用はありませんでした。

6. 指定特定相談支援事業

計画的にサービス等利用計画の作成、モニタリングを実施しました。

平成30年度業務報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1. 利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

(1) 地域区分

(単位：人)

| 地域 | 富士見市 | ふじみ野市 | 三芳町 | その他 | 合計 |
|------|------|-------|-----|-----|----|
| 就労継続 | 43 | 14 | 8 | 1 | 66 |
| 就労移行 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 |

(2) 障害の程度

(単位：人)

| | ○A | A | B | C | 非該当 | 合計 |
|----|----|----|----|---|-----|----|
| 男性 | 4 | 15 | 19 | 3 | 11 | 52 |
| 女性 | 0 | 4 | 10 | 0 | 3 | 17 |
| 合計 | 4 | 19 | 29 | 3 | 14 | 69 |

(2)-2 障害支援区分

(単位：人)

| 就労継続 | 区分6 | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 区分1 | 非該当 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 3 | 7 | 8 | 6 | 0 | 25 | 49 |
| 女性 | 0 | 2 | 1 | 4 | 3 | 0 | 7 | 17 |
| 合計 | 0 | 5 | 8 | 12 | 9 | 0 | 32 | 66 |

| 就労移行 | 区分6 | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 区分1 | 非該当 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |

2. サービス利用状況 (平成31年3月31日)

| サービス名 | 開所日数 (日) | 延べ利用率 (人) | 1日の利用平均 (人) |
|--------|----------|-----------|-------------|
| 就労継続 | 323 | 14,061 | 43.5 |
| 就労移行 | 265 | 880 | 3.3 |
| 日中一時支援 | | | |

3. 支援活動

(1) 園芸部の取り組み

- ・ 富士見市・三芳町と公園花壇の植栽管理契約を結び公園等植栽を実施
(4月・5月・6月・7月・8月・9月・11月・12月)

- ・ 公園花壇植栽用の花、一般販売用の花を年間通して育成
（ペチュニア、ひまわり、マツバボタン、ハボタン、パンジーなど）
- ・ 各種イベントでの販売を実施
- ・ フラワーショップ「ふれんず」、仲卸店「Musashino♻️Flower Market」の運営

(2) 製造部の取り組み

- ・ 健康食品箱詰め、DM封入封緘作業
- ・ 施設外就労（本の裁断業務、(株)富澤）
- ・ むさしの作業所まつりの開催（ふじみ春まつり5月12日、おおい春まつり19日、おおい秋まつり11月10日、ふじみ秋まつり11月17日）

4. 運営管理業務

(1) 職員会議（月1回）・保護者会（年5回）

(2) ケースワーカー定期協議（年2回）

(3) 害虫駆除（年2回）、消防設備点検（年2回）、雑排水清掃（年1回）

9月20日 避難訓練（避難・通報・消火訓練・炊出し訓練）

1月17日 避難訓練（避難・通報・消火訓練・炊出し訓練）

5. 研修について

4月10日他 いい働く場づくり隊（株FVP主催 長野県、高知県他）

16日他 虐待防止研修会

5月30日 クレーム対応研修会

6月18日 中堅職員研修会

8月 8日 安全運転管理者研修

10月 1日 フラワーEXPO

5日 就労支援研修会

12月17日他 相談支援従事者現任研修

2月 1日 アンガーマネジメント研修

13日 東入間警察署による安全教育研修会（利用者）

14日 東入間警察署による安全教育研修会（職員）

3月16日 むさしの作業所内部研修会

6. 地域との連携

4月 1日 大応寺縁日出店参加

22日 富士見市子どもフェスティバル出店参加

- 5月26、27日 鶴瀬公民館まつり出店参加
- 6月 3日 難波田城公園まつり出店参加
- 9月 2日 みよしまつり出店参加
- 10月27日 富士見市ふるさとまつり出店参加
- 11月25日 みよし福祉まつり出店参加
- 12月 1日 ふじみ野市ふれあい広場出店参加
- 3月9、10日 南畑ふるさとまつり出店参加

7. 視察・見学・講師派遣

- 11月27、28日他 埼玉県サービス管理責任者研修講師派遣
- 1月25日 上福岡障害者支援センター21研修会講師派遣

8. 実習生受入

(1) 特別支援学校等 11名

- ・富士見特別支援学校生実習（3名） ・所沢おおぞら特別支援学校生実習（4名）
- ・富士見市立西中学校（2名） ・勝瀬中学校（2名）

(2) 社会福祉士実習

- ・東洋大学（3名） ・文京学院大学（2名） ・山村学園短期大学（2名）
- ・介護等体験実習（12名）

(3) 文京学院大学作業療法学科学生実習（8名）

(4) 文京学院大学福祉実習（14名）

9. ボランティア関係

- ・日赤奉仕団 第4水曜日 年9回
- ・キリスト教協議会 第1・3月曜日 年19回
- ・フルーモス 12月21日クリスマスコンサート開催